

滿洲農業移民寫真帳

拓務省拓務局

国立保健医療科学院蔵書



10012155

WB

41

7786

滿洲農業移民寫真帳

昭和二十一年
 川上理一氏
 東京
 公 院

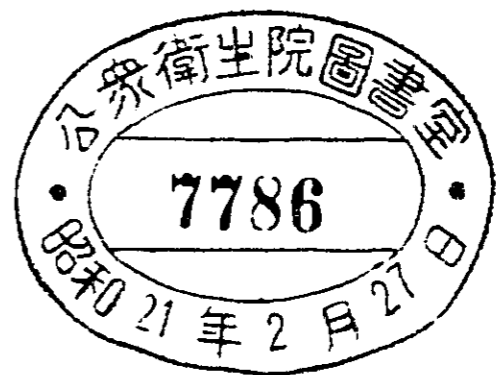
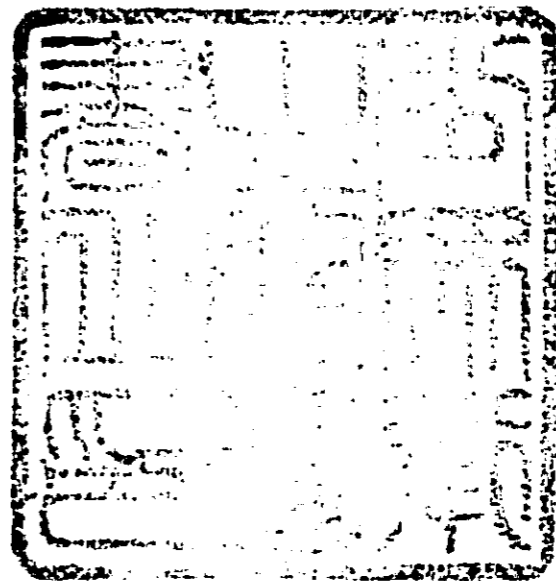
WB
41

滿洲農業移民入植圖
寫真版

滿洲農業移民寫真帳

目次

- 一、 銓 街
- 二、 訓 練 所
- 三、 出 帆
- 四、 哈 爾 濱 訓 練 所
- 五、 既 設 移 民 團 訓 練 所
- 六、 先 遣 隊 員 の 家 屋 建 設
- 七、 種 を 播 く 先 遣 隊 員
- 八、 本 隊 の 移 住 地 到 着
- 九、 入 植 宣 誓 式
- 一〇、 移 住 地 遠 望
- 村 役 場 の 内 部



7786

二一、 役場前の揭示板
 二二、 神
 二三、 忠魂碑
 二四、 移住地の僧侶
 二五、 病院
 二六、 小學校と生徒
 二七、 授業
 二八、 運送
 二九、 別れの禮・歸宅
 三〇、 巡回文庫
 三一、 農産加工場
 三二、 共の内部
 三三、 醬油の醸造
 三四、 日本酒の醸造
 三五、 電話の架設
 三六、 トラックの運送
 三七、 種畜場

二六、 緬羊の放牧・牛の放牧
 二七、 耕馬の蕃殖
 二八、 種畜場の蒙古羊
 二九、 搾乳
 三〇、 鋸引
 三一、 建築材の山
 三二、 建築中の個人家屋
 三三、 個人家屋の一例
 三四、 新様式の個人家屋
 三五、 室内
 三六、 ランブ・掃除機
 三七、 攘夷・犁文
 三八、 冬の戶外風景
 三九、 温床作り
 四〇、 温室
 四一、 苗木
 四二、 トラクター開墾

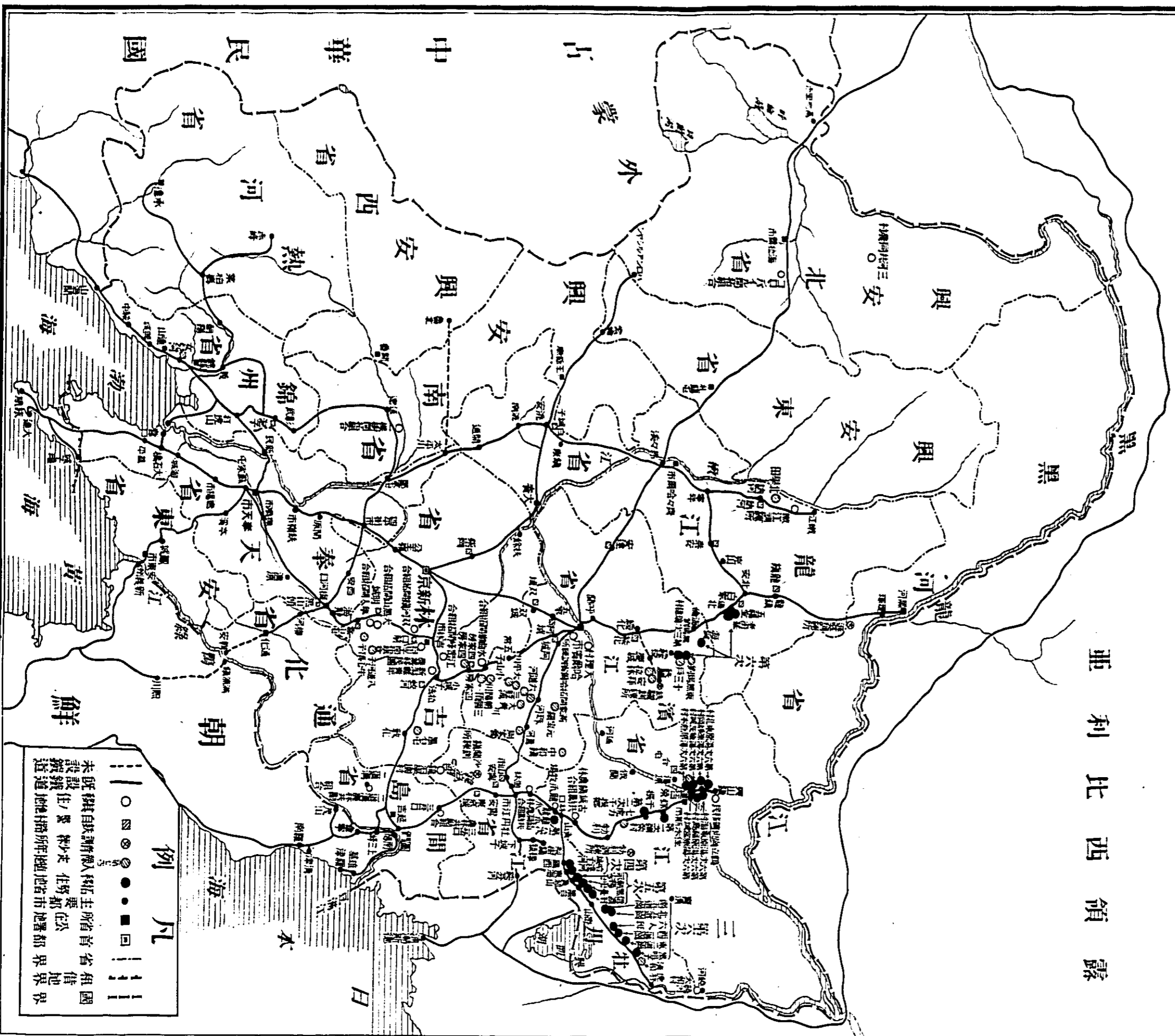
四二、 耕
 四三、 大豆の播
 四四、 鎖の種
 四五、 間引
 四六、 小麦の除草中耕
 四七、 大豆の除草中耕
 四八、 蔬菜の除草中耕
 四九、 灌漑用水路
 五〇、 水稻の收穫
 五一、 大麥の收穫
 五二、 小麥の收穫
 五三、 粟
 五四、 高粱
 五五、 小麦の山
 五六、 滿洲式脱穀
 五七、 日本式脱穀
 五八、 收穫の喜び

五九、 收穫物の運搬
 六〇、 茄子の收穫
 六一、 見事な越瓜
 六二、 西瓜の收穫
 六三、 見事な蔬菜類
 六四、 煙草
 六五、 剪毛・羊毛洗ひ
 六六、 羊毛紡ぎ
 六七、 氷の貯藏
 六八、 席編み・繩紉ひ
 六九、 伐採
 七〇、 馬車で運搬
 七一、 トラクターの運材
 七二、 木材の降し
 七三、 團圓の家屋
 七四、 滿洲式井戸
 七五、 餅搗き・松飾り

- 七六、産婆さん
- 七七、可愛い二世、子移者の集ひ
- 七八、一家園樂
- 七九、魚料理
- 八〇、楽しい食事
- 八一、秋祭りの神社参拜、餘興
- 八二、運動會
- 八三、運動會の婦人連會
- 八四、郷土藝術
- 八五、村の床屋
- 八六、移住地の旅館
- 八七、移民團の公會堂
- 八八、敬老會
- 八九、鴻恩移民團に及ぶ

滿洲農業移民植圖

露 領 西 比 利 並

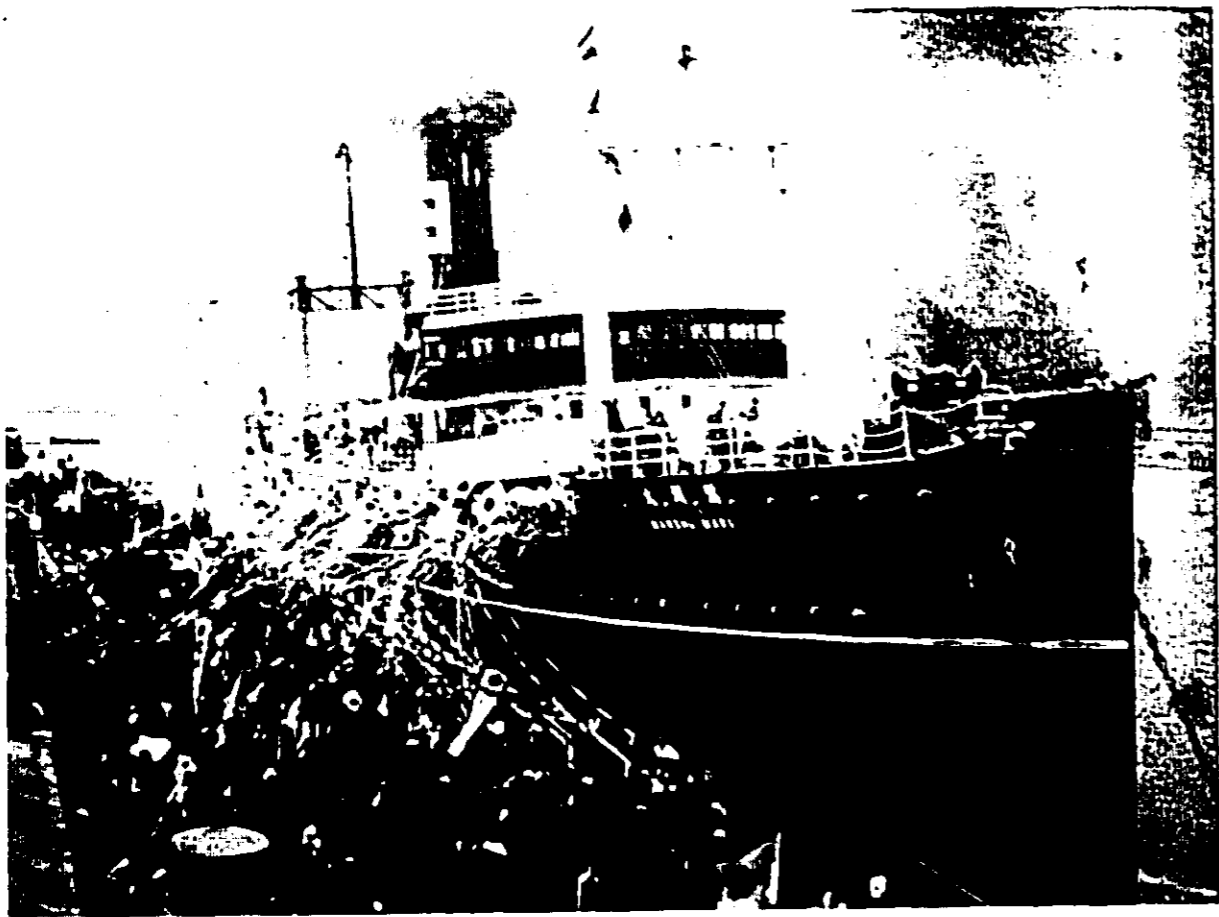




銜 銓

【一】

滿洲農業移民の募集は北海道、沖縄を除く各府縣で行はれ、應募者は府縣廳其他指定された場所で人物試験及身體検査を受け合格すれば假採用者となる。應募資格は徴兵検査終了後滿四十歳迄の者で農業に従事して居るか、農業に充分經驗のある者、又は農業移住地建設經營に必要な大工、左官、石工、鍛冶等特技ある者。申込は市町村役場で何時でも受付ける。



出 帆

【三】

本隊採用者は二、三月の頃拓務省職員其他府縣責任者に引卒されて、新潟、敦賀、門司、其他の港より出帆渡滿する。
汽車賃、船賃等の渡滿旅費は拓務省で支給し、出發港へは係官を派遣し種々の斡旋をする。



訓 練

【二】

假採用者は大體農閑期に各府縣の農民道場、修練農場其他で約一ヶ月間の訓練を受け、この訓練の成績によつて正式採用が決定される。
この訓練費及訓練所への往復旅費等は拓務省から支給する。



先遣隊員の家の建設

入植した先遣隊員は先づ本部事務所や共同宿泊所の建設を初める。

【五】



哈爾濱訓練所



既設移民國訓練所

移民團は先遣隊と本隊とに分れ、先遣隊は本隊よりも一年以上前に渡滿し、先づ哈爾濱訓練所又は既設移民團の訓練所に入り約一ヶ年位現地訓練を受けた後、定められた移住地に入植する。

【四】



本隊の移住地到着

準備の出来た移住地へ本隊は農耕の着手に間に合ふ
 様二、三月の候入植する。

【七】



種を播く先遣隊員

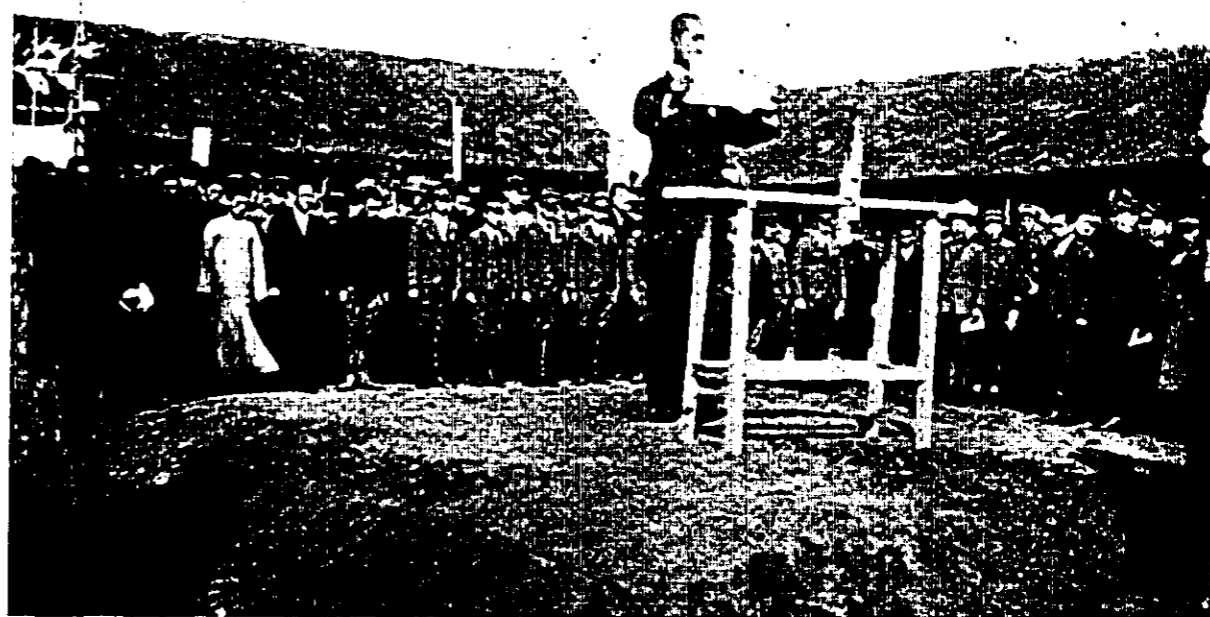
又食糧薪炭等の準をして本隊の入
 植を待つ。

【六】



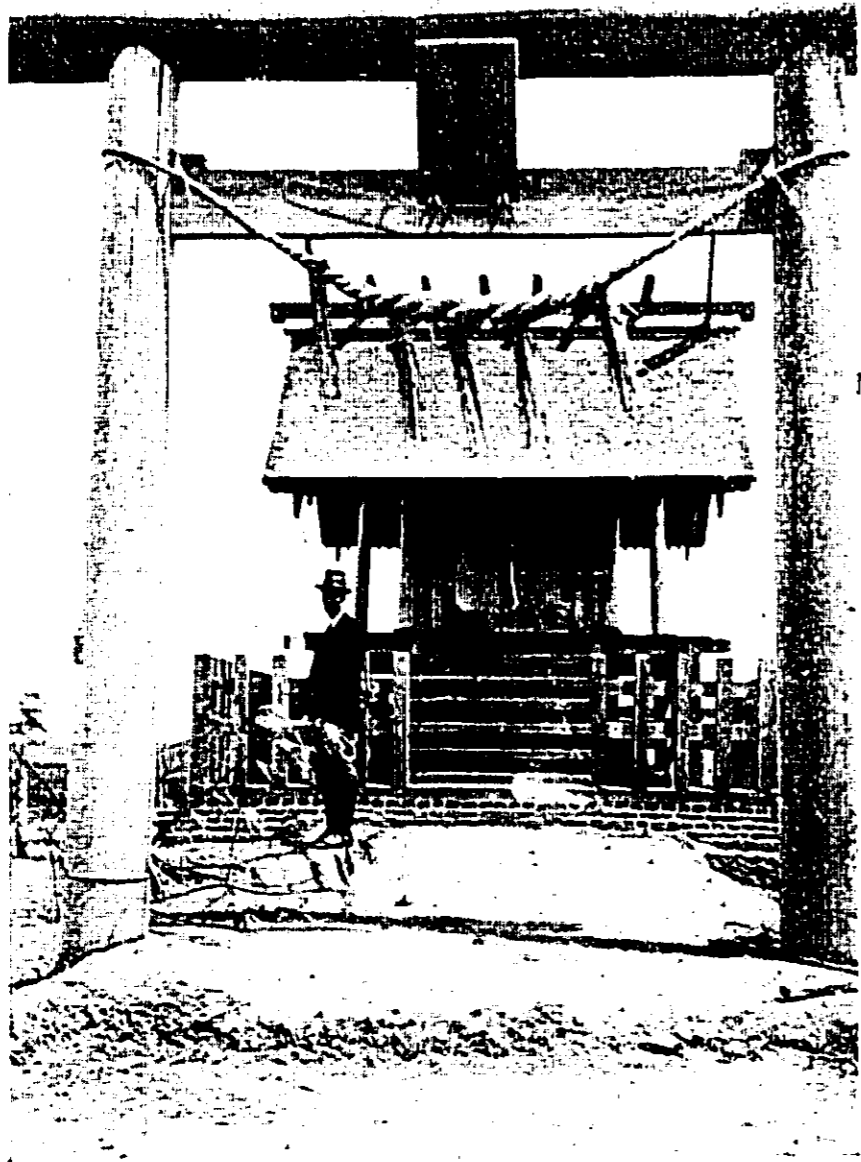
移 住 地 遠 望

【九】
 移住地は拓務省が關東軍、滿洲國及滿洲拓植公社の協力を受けて決定した肥沃な土地で之を滿洲拓植公社が購入して移民團員に分讓するのである。
 移民團は大凡二百戸或は三百戸を一團とし、二、三十戸を以て一部落とする。



入 植 宣 誓 式

【八】
 本隊が入植して初めて移民團が纏り茲に入植の宣誓式を行ひ、愈々新日本農村の建設に邁進する。



社 神

【一一】

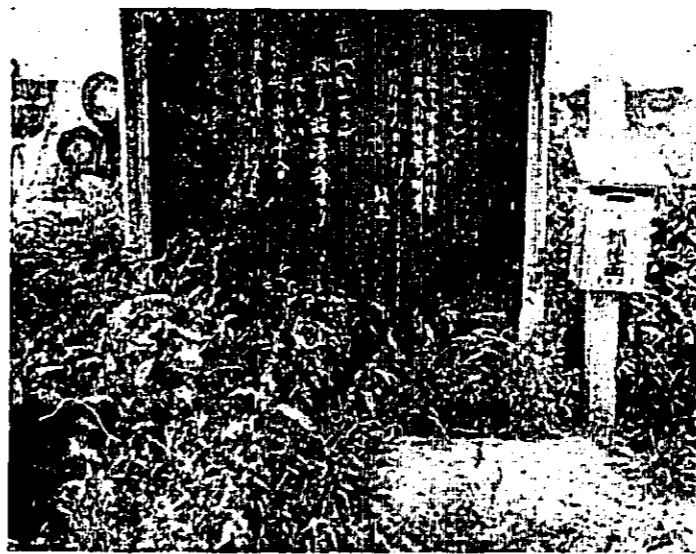
移住地には其の中心の丘上に移民
 団員の手で神社が建てられ、精神
 的結合の中樞となつてゐる。



部 本 團 民 移
 (豪象氣央中 場役右)



部 内 の 場 役 村



板 示 掲 の 前 場 役

【一〇】

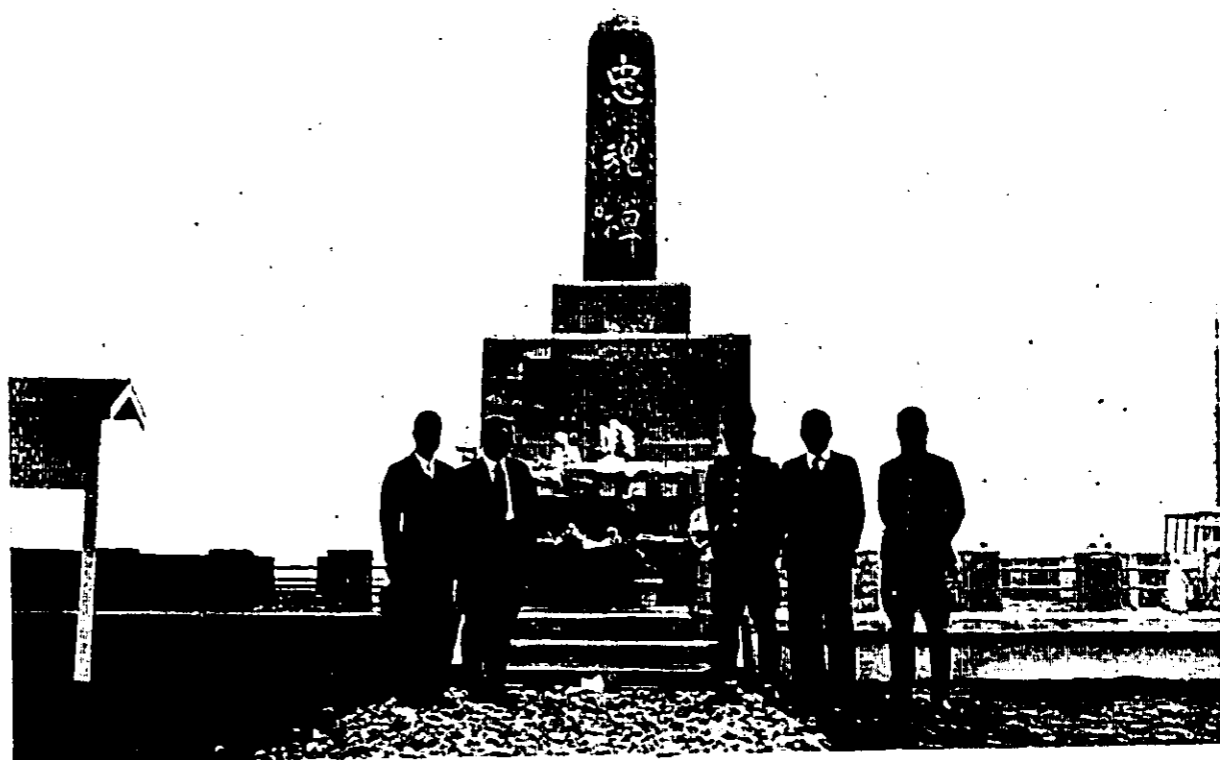
本部は移住地地の中心にあり、之はやがて自治村の
 村役場となり、日本内地に於ける町村役場と少しも
 變りの無い仕事をする。



移住地の僧侶

移住地には神社と共にお寺も建てられ、布教師が派遣され布教に従事して居る。

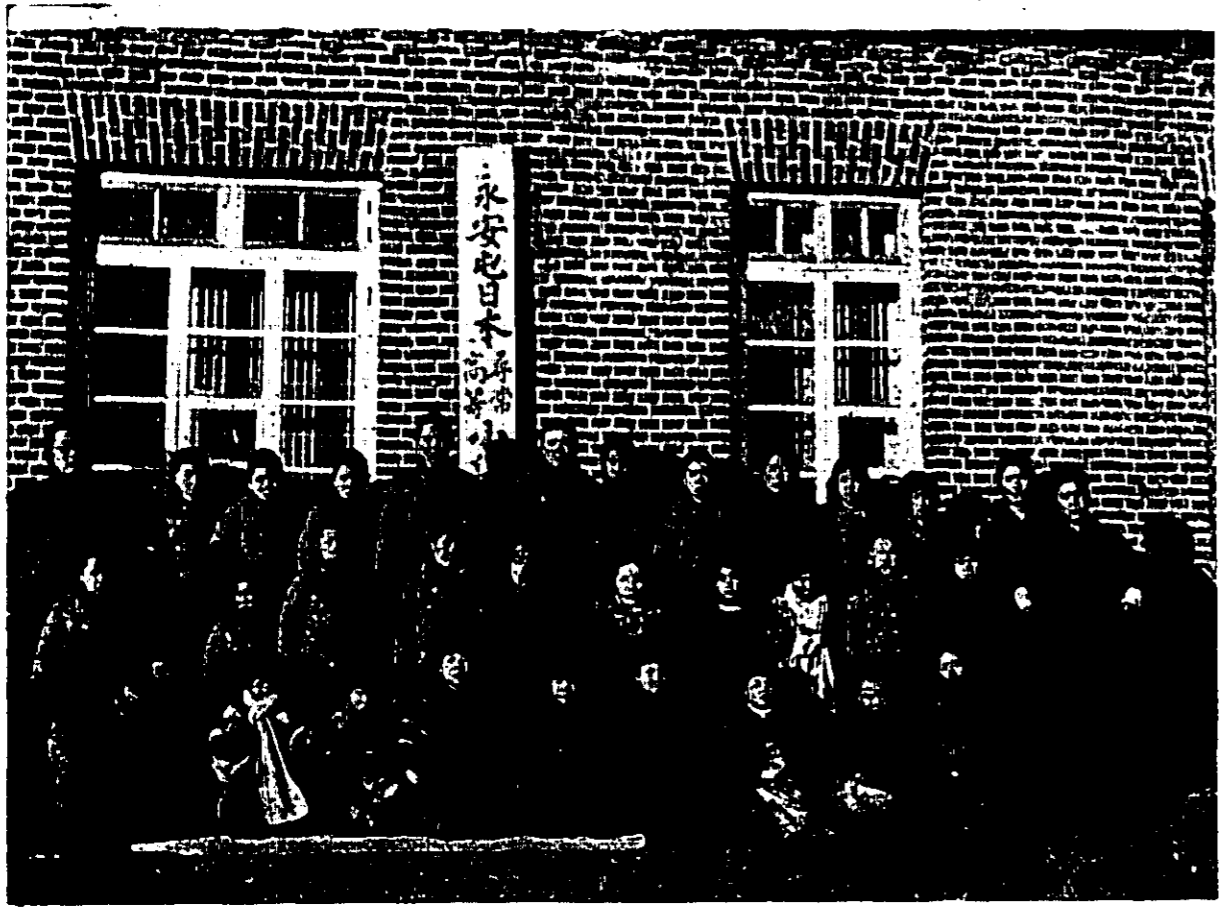
【一二】



忠魂碑

満洲の野に華と散つた皇軍勇士の忠烈と移住地建設の爲めに倒れた移民団員の偉業を偲ぶ忠魂碑。

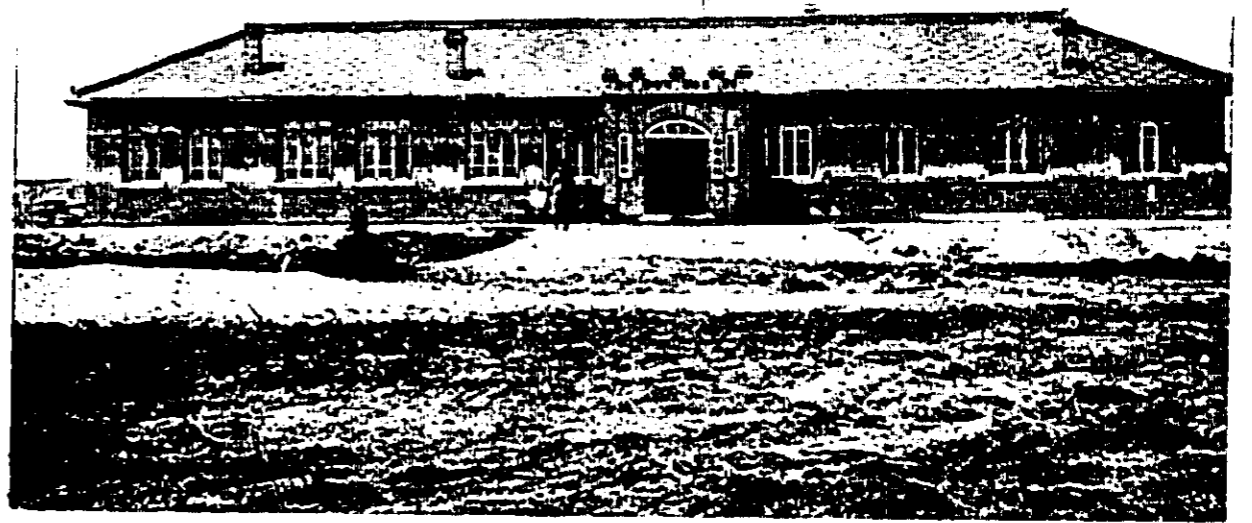
【一二】



小 學 校 と 徒 生

【一五】

移民團では個人家屋が出来れば段々と家族招致が行はれ、従つて學齡兒童が續々と増加し茲に學校が建設される。



病 院

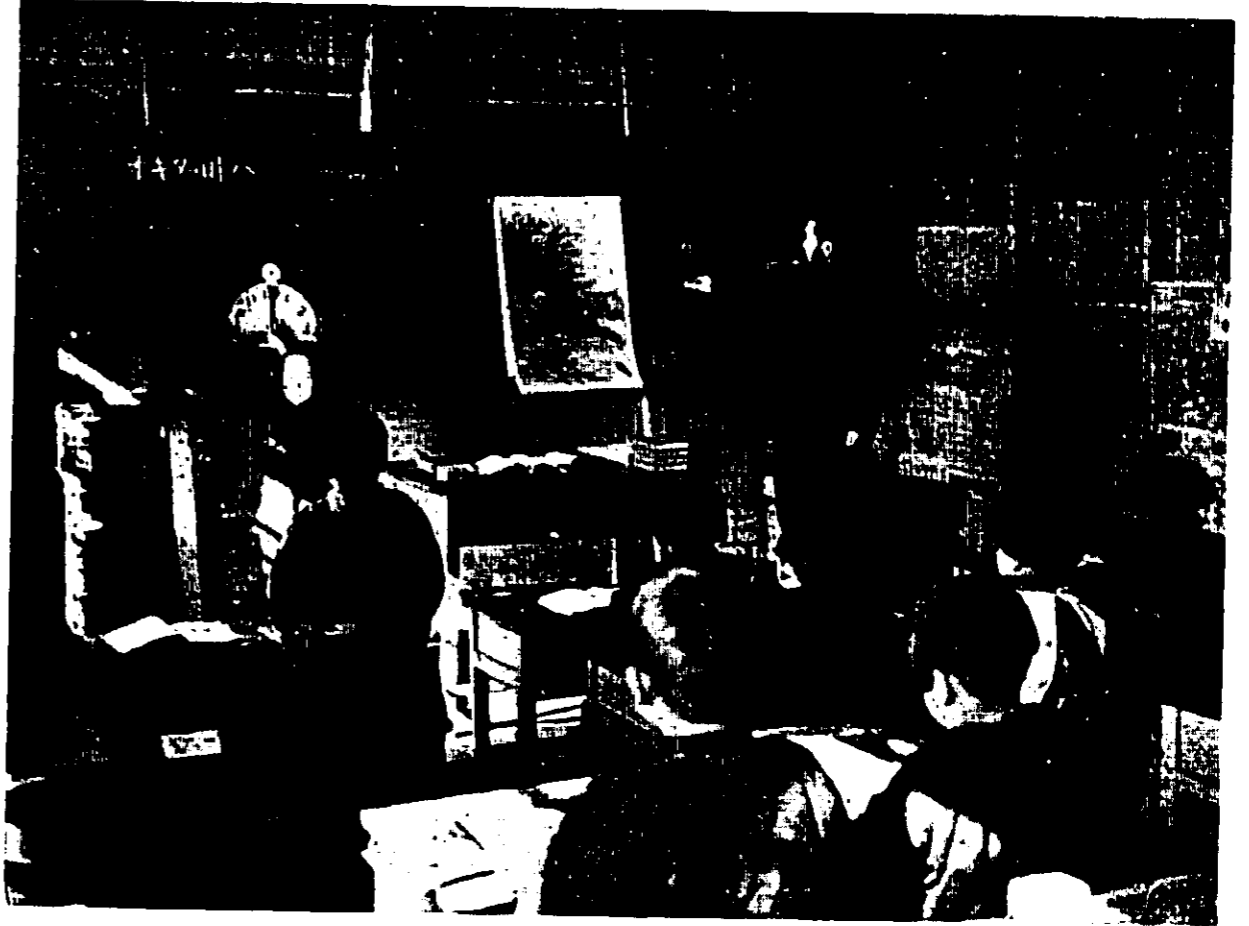
【一四】

移住地には先遣隊の入植と同時に拓務省から醫師が派遣され病院が設けられるが、村の建設が進展すると共に立派な病院が建てられる。



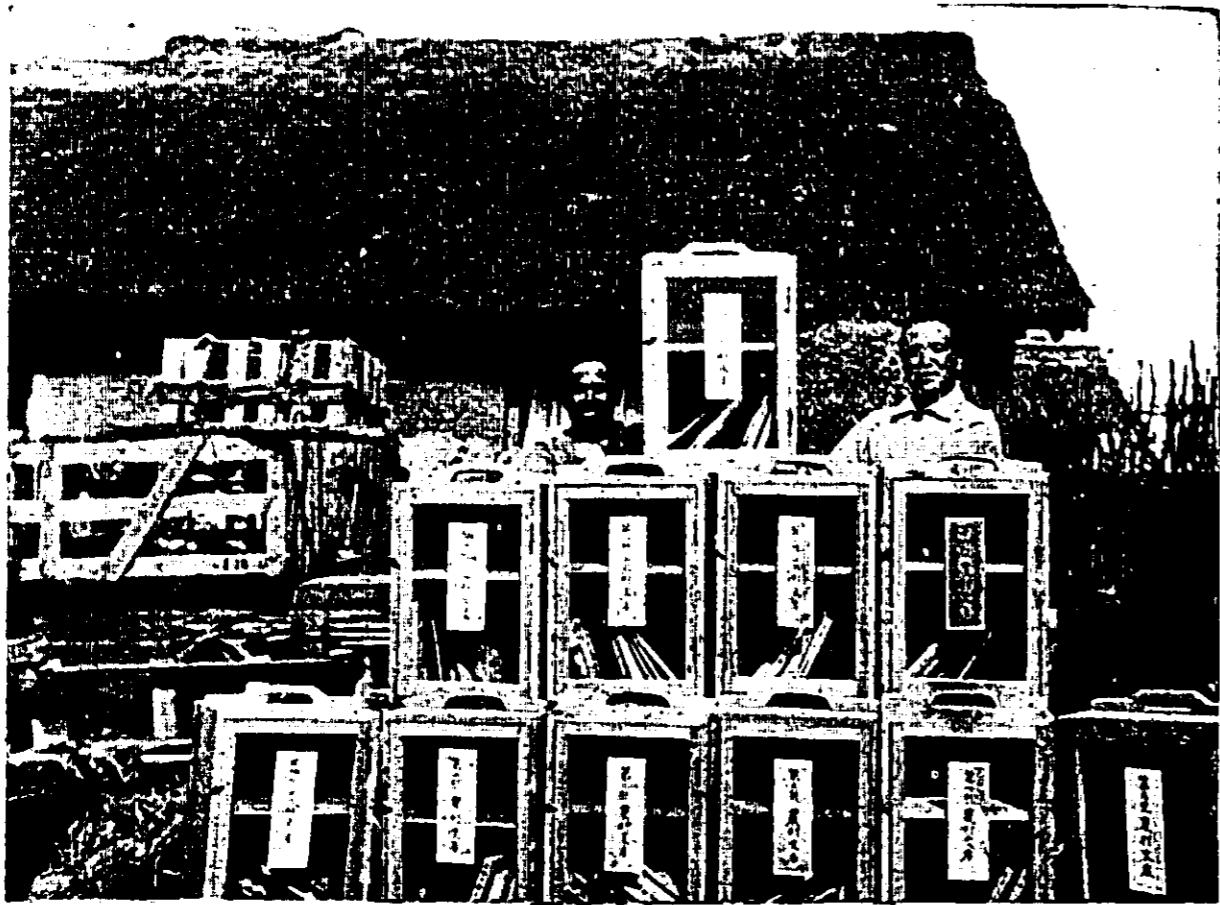
運動

【一七】
児童は北滿の寒氣にも負けず皆元氣に伸びくと育つて居る。



授業

【一六】
小學校では先生が新文化建設者となるべき児童の教育に懸命の努力を拂つて居る。



庫 文 回 巡

晴耕雨讀の農家本來の教へに従つて巡回文庫も設けられ農閑期や雨の日等には讀書して智識の向上を計る。

【一九】



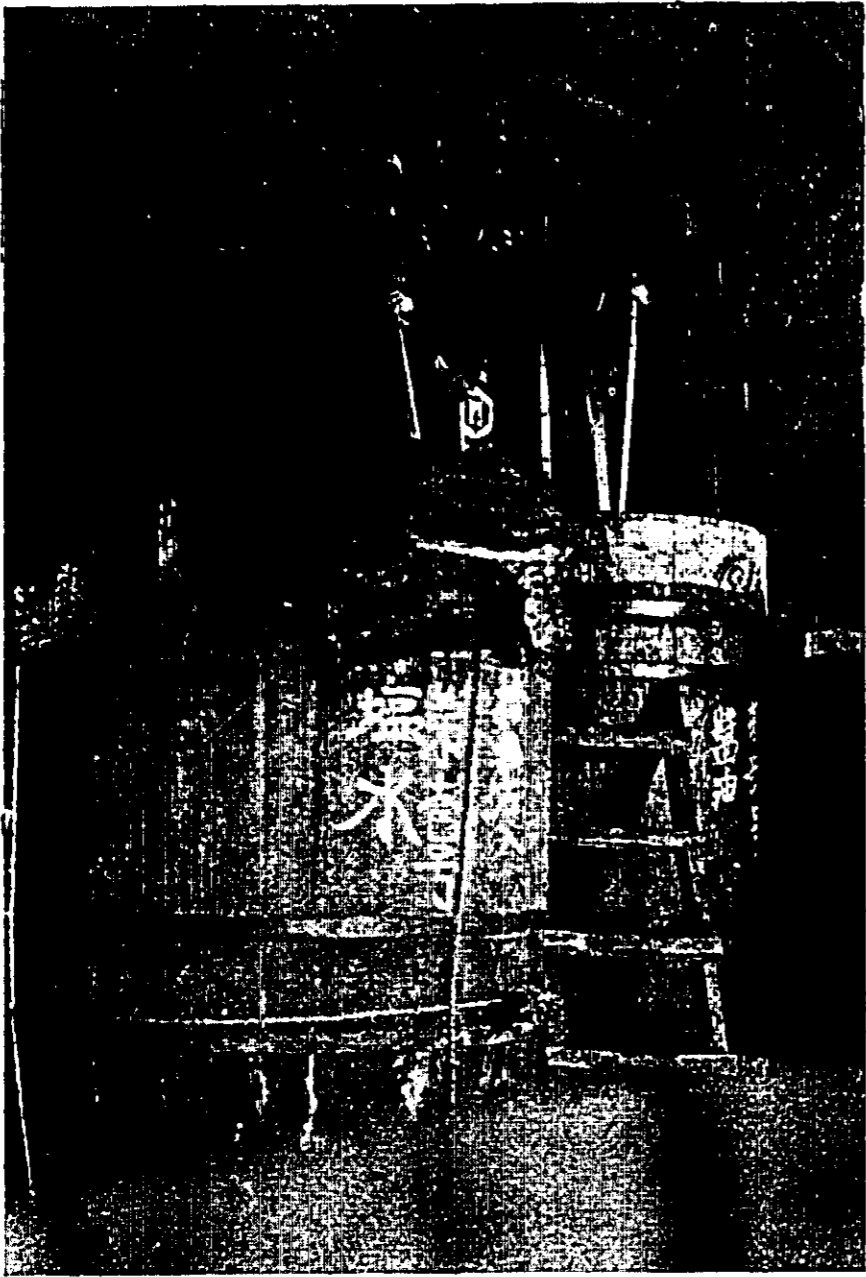
拜 禮 の れ 別



宅 歸

移住地の部落は學校から一里も二里も離れて居るのもあるので遠い部落の兒童達は學校に寄宿して先生の家族の世話になつて居り、土曜日の午後には夫々親許に歸へつて行き、月曜日には再び登校し寄宿生活に入る。

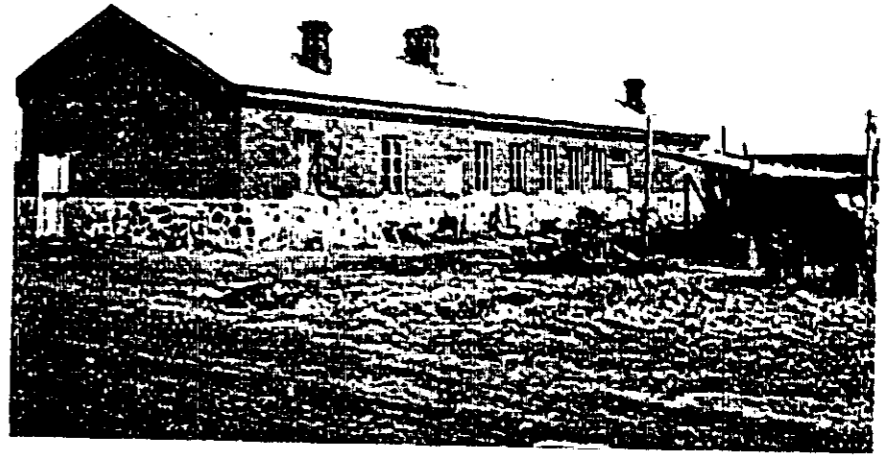
【一八】



醬油の醸造

大豆が良く出来る移住地では農産加工場で醬油を醸造して販賣する。

【111】



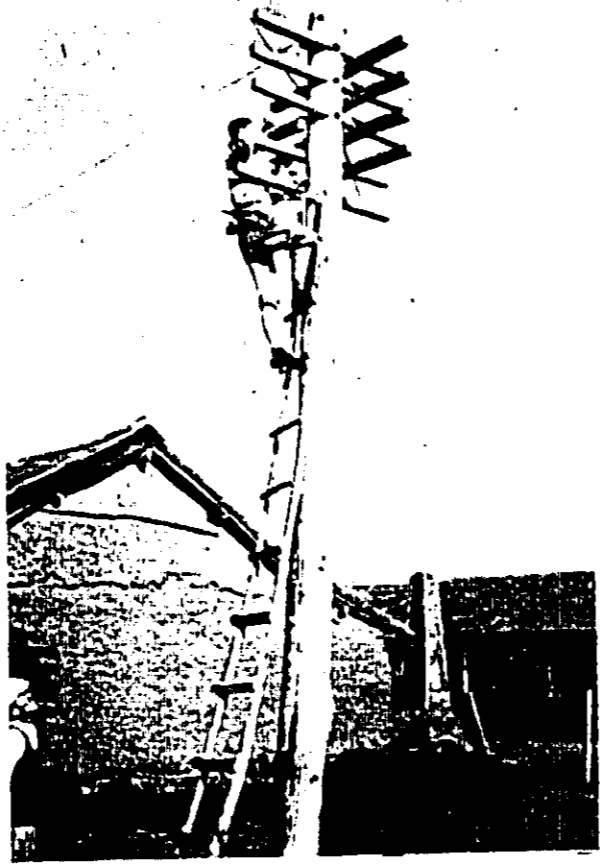
農産加工工場



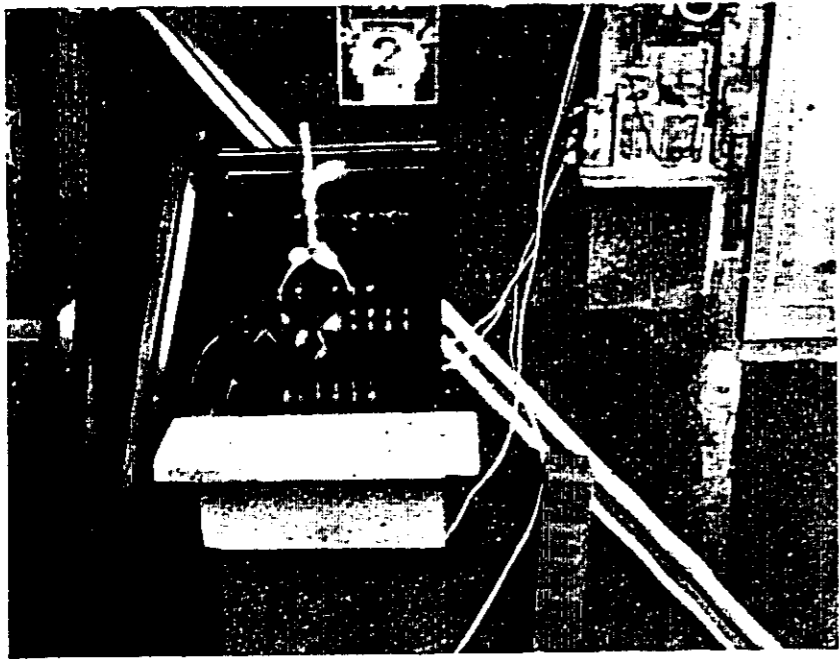
其の内部

移住地には農産加工場が設けられ、精米、製粉、製油等の設備をし穀物の加工をする他に清酒、醬油、味噌、漬物等をも作つて居り、今後農産加工は益々多種多様に及ぼうとして居る。

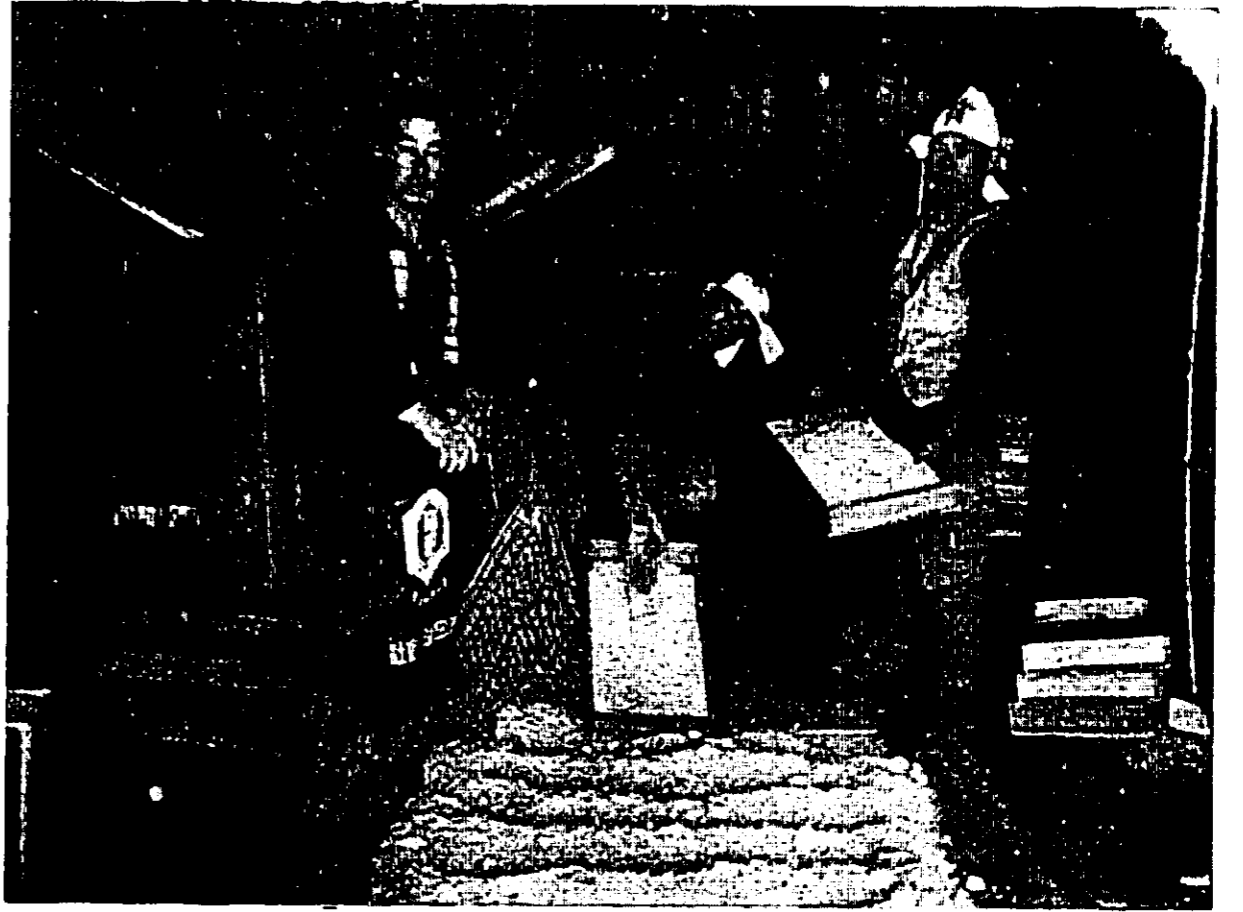
【110】



電 話 の 架 設



【二三】
 移住地では本部を中心として各部落及び驛駐屯軍共
 他との間に電話を架設して連絡をしてゐる。



日 本 酒 の 醸 造

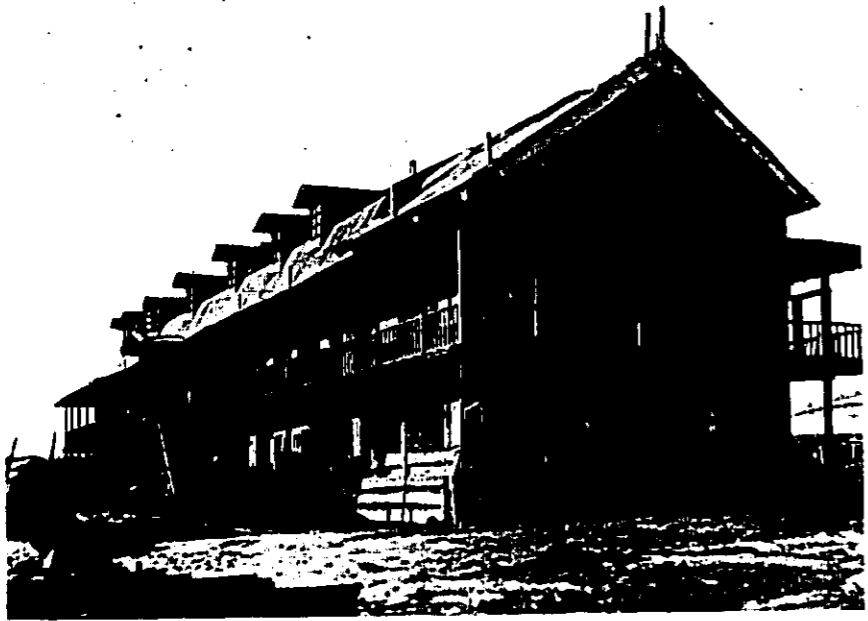
【二三】
 移住地では日本酒の醸造も爲し移民團本部の消費部
 で販賣する。



種

畜

場



【二五】

種畜場では綿羊、乳牛、豚、馬
 鶏等を飼育して、満洲家畜の改
 良並に繁殖を圖つてゐる。
 種畜場の建物も段々と近代式の
 立派な物が建てられて来る。



送 輸 ク ッ ラ ト

【二四】

移住地の交通機關トラックは移民團に備付けられて
 ゐる。